

伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 長島町福豊付近の木曽川右岸堤を上流側から望む

エリア： 三重県

撮影箇所： 長島町

撮影日： 1959年

撮影者： 旧建設省

資料提供者： 木曽川下流河川事務所

状況： ー

現地状況、コメント等

〔被災体験を持つ元建設省職員の方の所見(座談会)〕
伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものである。

木曽川右岸 4.0k 付近である。当時の長島町の木曽川右岸は、土砂採取して堤防の嵩上げ・拡幅を行っていた。川面には「よし根土」を吹いたが、天端は土盛りのままであった。写真では、嵩上げ・拡幅した分の盛土が崩れている。川岸に多く見られる細い棒状のものは、海苔の養殖に用いる道具(海苔ヒビ)である。

踏査時の調査表には以下のように整理されている。

<10月13日 災害状況調査表>

- 堤防の様子／嵩上げ堤か：嵩上げ堤、旧堤部はどうか：健在、法線方向：北北西
- 溢流しているか／部々に溢流する、その時刻：≒20時頃、溢流の様子：不詳、溢流深(波立)：不詳
- 波の来た方向：不詳
- 木の傾いている方向：北北西、何度位(地面に対し)：60°、樹種：マツ
- 灌木は残っているか：残っている、大きさ：1～3m
- 堤内地の家の壊れ方／壁：全部落ちるも上部は部々に残っている、屋根：健在、柱：直立

撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用